

ゆのまえ 議会だより



No. **35**
令和3年
8月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する



商工業を未来へつなぐ



P2 特集1
商工業の持続に向けた新制度を創設

P3 特集2
町の健康づくりを推進

P4 本会議
人材活用や施設整備に注力

P8 一般質問に6人が登壇

P15 全員協議会

P16 委員会

P18 研修・議員派遣

P19 一部事務組合

P20 住民の声

今号の写真

町中4地点の商店街の風景です。道路は整備されましたが店舗数は減少しています。

減少の主な要因は、大型店やチェーン店の進出と、住民の町外流出による人口減です。また、後継者不在による廃業も増えています。

町は商工会と連携し、高齢化や後継者不足の解決に向け、事業承継などの取り組みを始めました。

特集1につづく・・・

特集2

地域活性化起業人(旧:地域おこし企業人)事業

町の健康づくりを推進 民間の企業人を活用


令和3年6月22日、湯前町と株式会社ルネサンスは『地域活性化起業人制度による派遣に関する協定』を締結しました。この制度は、地方公共団体が、民間企業などの社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かし、地域独自の魅力や価値の向上などにつながる業務に従事してもらうプログラムです。

湯前町が抱える現状と問題

<p>◎働き世代のスポーツ離れ</p> <p>スポーツ実施率(週1回30分の運動を行うか) 国55.1% 県55.5% 湯前町27.9% ※平成29年B&G住民意識調査など</p>	<p>◎健康寿命の短さ</p> <p>本町 男性67.1歳 女性72.4歳 全国 男性72.1歳 女性74.8歳 ※平成28年厚生労働省データなど</p>
<p>◎スポーツ活動参加者、愛好家、スポーツ団体会員の減少</p> <p>体育協会会員数 平成23年度:537人 →令和2年度:325人</p>	

事業内容

健康のまちづくりの実現に向けて、両者が協働し、働き世代を対象としたスポーツ教室、高齢者への運動指導、地域クラブなどの体育団体と連携した児童への指導や担い手の育成などに取り組めます。

所属先	教育課 社会体育係(湯前町B&G海洋センター)
派遣期間	令和3年7月1日~令和4年3月31日(最長3年間)
派遣社員	 <p>株式会社ルネサンス 大森 健宏さん</p>
業務内容(予定)	<p>◎生涯スポーツ振興(競技スポーツと健康づくりの振興)</p> <p>◎高齢者健康教室での指導</p> <p>◎小学校総合運動クラブコーチやスポーツ関係者の指導力向上</p> <p>◎B&G関連事業との連携 ◎体育施設運営支援</p>

※派遣元企業に対する負担金など企業人の受入に要する経費や、起業人が発案・提案した事業に要する経費などに対し、特別交付税措置があります。



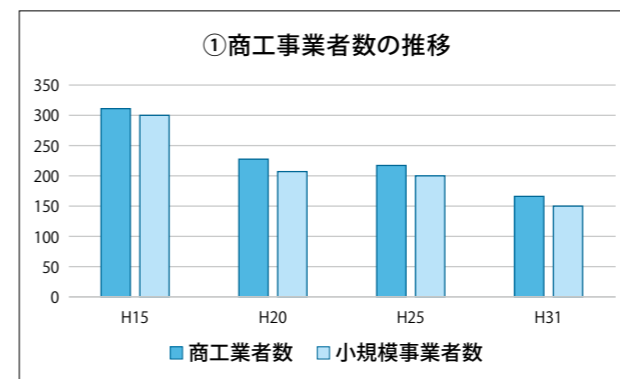
特集1

商工業の持続に向けた新制度を創設 事業承継サポート事業

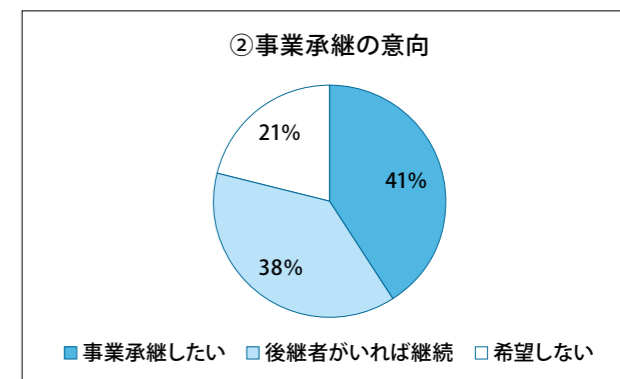
令和3年度から「湯前町事業承継サポート事業」を創設しました。事業承継に必要な就業期間において、1年目に月額10万円、2年目に8万円、3年目に6万円を支給します。町は、商工業者の計画的で確実な事業承継を促進していきます。

商工事業所が抱える問題

- 個人事業主の高齢化が進み、60歳以上の事業主が約7割と全国平均を大きく上回っている。
- 後継者不在の事業所が多く、廃業せざるを得ない状況。
- 業種に関係なく後継者不在が見受けられ、製造業・小売業での後継者不在が特に目立っている。技術習得が必要な業種が多く、知的財産が失われ、地域だけでなく業界に及ぼす影響も懸念される。



※①データ:経営発達支援計画[商工会]



※②データ:アンケート結果

[調査日:平成30年12月、調査事業所数:109]

町の支援方針

商工事業所の喫緊の課題である高齢化や後継者不足への解決策として、湯前町総合戦略および経営発達支援計画に基づき、事業継続、廃業回避、スムーズな事業承継などを後押しします。

商工会と連携し、親族内承継および第3者承継に意欲ある事業所などに対し、担い手育成と産業技術の伝承の取り組みに対して支援します。支給期間は、最長3年です。

なお農業後継者は、「農業後継者等支援事業」(平成28年3月28日施行)で対応しています。

給付対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・就業時の年齢が50歳以下であり、事業承継に強い意欲を有している者 ・湯前町経営発達支援計画に定める「事業承継計画」を策定している(または、策定する予定の)商工事業所に就業し、将来、その事業所を承継する予定の者 ・当該商工事業所での就業が主たる仕事であること ・当該商工事業所に就業してから3年以内の者 ・5年以上継続して就業する意志のある者 ・連帯保証人が存在すること
-------	--

6月一般会計補正予算

人材活用や

施設整備に注力

補正額 2億402万円

6月定例会は、7日から25日まで19日間の日程で開かれました。議員6人が一般質問を行い、令和3年度予算の補正、条例改正などを審議しました。また、4月20日と5月26日に臨時議会を開催しています。主な補正予算は、商工業への事業承継事業、地域活性化起業人事業、新たな住宅建設や城泉寺トイレなどの施設整備事業です。

主な補正予算

商工業への補助事業
湯前町事業承継サポート事業補助金 120万円

親族内承継および第三者承継に取り組まれる町内の2事業所から申請がありました。月額10万円の6ヶ月分を支援します。
 (特集1 2ページ参照)
 (住民の声 20ページ参照)

民間力で健康づくりを推進

地域活性化起業人(旧地域おこし企業人)負担金 550万3000円

三大都市圏に所在する民間企業の社員1人を派遣していただき、健康づくりや介護予防、スポーツ振興といった場面に企業のノウハウを取り入れることを目的とした事業です。3年間の派遣期間のうち、令和3年度分の給与など人件費分を派遣元へ支払う負担金です。財源は、特別交付税420万円です。
 (特集2 3ページ参照)

湯前町小規模事業者持続化補助金 12万5000円

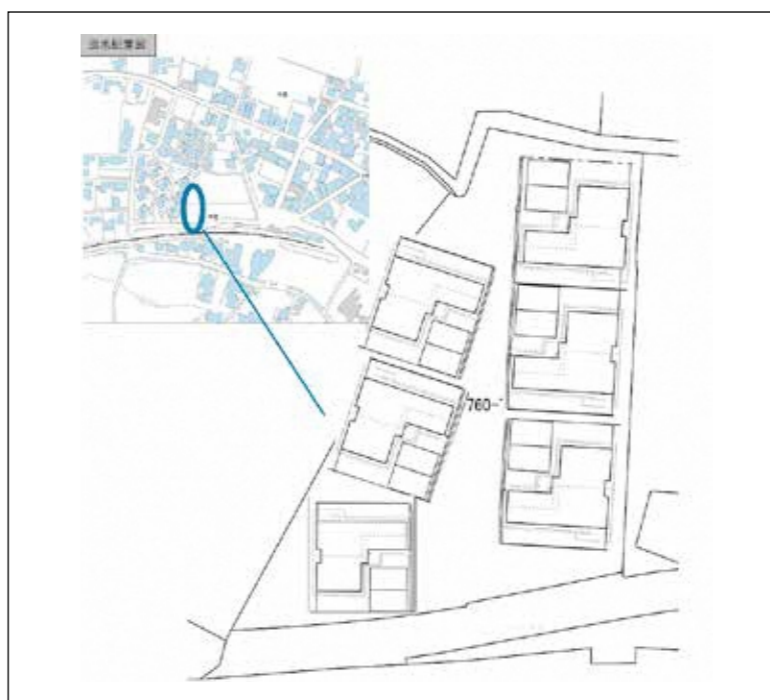
町内商工業事業所の販路開拓の取り組みを支援するもので、1事業者から申請がありました。国補助金の残り3分の1(自己負担分)のうち、2分の1を町が補助します。

若者世帯向け6戸を建設

地域優良賃貸住宅整備事業設計業務委託料 800万円

湯前駅前の元JR用地に、令和4年度から2戸ずつ全6戸を建設する予定です。

令和3年度は、これらの住宅建設の設計を行います。設計業務の財源には、社会資本整備総合交付金213万2000円を充当します。



建設イメージ(未確定)

城泉寺トイレ建設に着手 整備工事関連 1300万円

城泉寺トイレを新築します。(完成は10月末の予定)

財源には、水力発電所リニューアルに係る地元振興支援事業交付金1000万円を充当します。

積極的な農業投資

農業機械・施設導入支援補助金 1486万5000円

経営規模拡大に意欲のある農家や新規就農者へ、機械や施設の導入を補助します。補助対象は9件で、内容は牛舎の増設、コンバインやトラクターなどの農業機械の購入などです。

本予算は、総合計画・実施計画の年度予算500万円を大きく上回ります。

深田2地区排水路改修工事測量設計業務委託料 800万円

今年度の用水路改修工事で国庫補助金の内示があり、深田地区の排水路を改修します。
 国庫補助金、県補助金あわせて69%分、受益者分担金10%分などを充当します。

町道と橋梁の整備

橋梁点検業務委託料 820万円

町内35橋の点検を行います。

橋梁補修詳細設計業務委託料 390万円

竹ノ谷橋の補修工事の設計費です。

町道舗装修繕工事 5100万円

3路線(町道松原上車線、町道向田上辻線、町道植木二本柿線)の舗装修繕を行います。社会資本整備総合交付金の配分決定によるもので、3686万5000円と地方債を充当します。

部分運行に向けた準備
くま川鉄道経営安定化補助金(災害復旧費) 792万1000円

令和2年7月豪雨の災害復旧に係る本町負担分です。流された橋梁撤去や土砂撤去、踏切設備などの工事費を含みます。

負担割合は、国費2分の1、県費4分の1、地元10市

町村4分の1で、本町負担金は792万1000円です。財源は、補助災害復旧事業債(地方債)を借り入れ、元利償還金の95%が普通交付税措置されます。



駐車場の北側(写真右側)にトイレを新築

那須良輔氏の偉業をマンガ化

偉人マンガ制作 472万円

B & G財団の補助金299万9000円を活用し、本町出身の風刺漫画家・那須良輔氏を偉人マンガとして制作します。制作業務委託料は399万3000円です。小中学校の子ども達へ配布し、学習教材として活用します。企画構成などを行う有識者への謝金51万9000円のほか、那須先生親族様の訪問旅費、風刺漫画審査員の取材旅費などを含みます。

その他の議案

議会改革を継続

議会改革調査特別委員会の設置

本議会では、これまで平成28年、平成31年の2度にわたり議会改革調査特別委員会を設置しています。その中で、町民に信頼され町民の付託に応えられる真の議会の実現を目指し、様々な取り組みを行ってきました。

しかし、地方議会を取り巻く環境は日々変化し、更なる対応が求められるため、議会改革に関する調査を引き続き行います。

- ◎委員長 金子光喜議員
- ◎副委員長 黒木龍次議員
- ◎委員 倉本議長を除く9人の議員

工事請負契約の締結

	湯前小学校外部改修工事	蓑谷ため池災害復旧工事
契約の金額	9130万円	8382万円
契約者	株式会社速永工務店	味岡建設株式会社
完成工期	令和3年10月29日	令和4年3月25日



改修工事が始まった小学校



蓑谷ため池災害復旧工事


議案審議など 賛否一覧

議案	吉田 精二	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	黒木 龍次	味岡 恭	金子 光喜	山下 力	倉本 豊	審議結果 (賛成：反対)
湯前町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
湯前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
令和3年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
令和3年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
議会改革調査特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9:0)


○：賛成 ×：反対 -：採決なし（議長は採決に加わりません）

コロナ関連の予算


主なコロナ関連事業	金額
感染防止設備等導入補助金	600万円
子育て世帯生活支援特別給付金	339万4000円
町内宿泊施設支援事業	210万円
飲食店等従業員PCR検査受検促進補助金	180万円
営業時間短縮要請協力金に係る市町村負担金	121万7000円
無人車中泊サービス提供施設整備事業	470万円



①湯楽里



②湯前駅前



車中泊紹介ビデオ

主な条例改正

コロナ関連の条例改正

湯前町国民健康保険条例の改正

今回の改正は、新型コロナウイルスに感染した被保険者などに係る傷病手当金の適用期間に関するものです。これまでは、適用期間が延長されるたびに本条例の改正が必要であったため、今回、他町村の条例と同様に、規則でこれを定めることになりました。

湯前町国民健康保険税条例の改正

今回の改正は、新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が減少した被保険者などの国民健康保険税を減免するものです。令和2年度までの限定措置に令和3年度を追加し、納期限を延長します。

一般質問に6人が登壇

執行部の考えを質す

6月定例会の一般質問では、議員6人が執行部の考えを質しました。今回の一般質問も、新型コロナウイルスの議会対応により自席から行いました。

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
遠坂 道太	①利用されていない町有地の有効利用 ②町民が安心して生活できる生活道路の整備	9
椎葉 弘樹	①インターネット接続サービスの民営化と地デジ難視聴世帯の対応 ②新たな防災行政情報システムの導入	10
西 靖邦	①公共施設のトイレ及びその他(ユニバーサルデザインなどの観点から)	11
黒木 龍次	①昨年の災害発生後の復旧状況	12
味岡 恭	①介護予防・健康づくり運動による健康寿命の延伸	13
吉田 精二	①安心安全なまちづくり	14

議会の傍聴

議会傍聴は、受付で名前を書けば、どなたでも入場できます。議会傍聴により、執行部と議員の緊張感が高まり、質疑や答弁のレベル向上が期待できます。お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

一般質問のYouTubeライブ配信(生放送)を行っています。

一般質問は、これまでIP告知端末放送(2チャンネル)とYouTube動画による録画配信を行っています。これに加えてYouTubeのライブ配信(生放送)も視聴できるようになりました。パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。

◎ご自宅のIP告知放送(2チャンネル)



◎YouTube動画(「湯前町オフィシャル」で検索)



過去の録画は、湯前町議会ホームページ(HP)からも視聴できます。

町HP > 湯前町議会 > 議会インターネット中継
<https://www.town.yunomae.lg.jp/gikai/list00558.html>



問 町有地の有効利用

答 第6次総合計画の中に位置づけている



録画中継



遠坂 道太 議員

要旨 宅地分譲の整備は、**答弁** 未活用の町有地を分譲地として計画、整備することにより、個人住宅の新築を促進。また総合戦略において、若い世代の住環境整備、宅地分譲地の整備事業ができないか捉えているところ。
移住定住というかたちでこれから計画をしていく。

要旨 土地の利用計画は、**答弁** また、個別の土地利用計画は、第6次総合計画の中に位置づけている。
個別の利用計画は、今度、農業公社の事務所を畜産センターに移転する計画をしている。後の土地や事務所などは、今後公募を行って貸し出すということも考えられる。
旧南部保育所は、今後解体した後、地区の駐車場を考えている。

要旨 現在利用目的が定まっていない土地は、**答弁** ほとんどの土地は利用されているが、過去に土地開発基金で購入したB&Gの体育館裏の土地は、当初弓道場の予定で購入したが、現在も活用方法が定まっていない状況。



解体後は駐車場に計画されている旧南部保育所



移転を計画している農業公社事務所

問 生活道路の整備

答 安心安全に通行できるように整備していく

要旨 現在、各地区より生活道路の補修要望があっているのか。また、どのように対処しているのか。
答弁 各地区から、15箇所ほど

要望が上がっている。町道古城線は、舗装状態が悪いということは認識している。予算次第で、来年度以降から計画的に実施を考えている。



舗装状態が悪い町道古城線



西 靖邦 議員



多目的(バリアフリー)トイレになっていない庁舎



録画中継

問 トイレなど公共施設のユニバーサルデザイン空間整備 答 それぞれのニーズに対応した整備を検討

要旨 庁舎の多目的トイレなど、快適なトイレ空間設置の考えは。
答弁 ユニバーサル考え方で、多目的トイレの設置は、とても重要なことだと考えている。
障がい者の方、高齢者の方、妊婦の方など、トイレは誰に

とっても生活の中で不可欠な設備である。
男女トイレを含め多目的トイレを併設した空間を、庁舎内外に整備する考えで検討を進めたい。また整備費の財源(有利な国県の交付金や起債事業の支援施策)も併せて調査したい。
要旨 各公共施設玄関の動作補助手すり、椅子などの設置の考えは。
答弁 改善センター、B&G海洋センター、中央公民館は、大小の違いはあるがベンチは設置している。

動作補助手すりがない公共施設の玄関



施設ごとに建築士などと相談しながら、安全に施設を利用いただく観点で検討していきたい。

要旨 小中学校のトイレに、擬音装置を設置する考えは。
答弁 学校側との協議にて小中学校とも擬音装置は、必要ないとの回答。
要旨 小中学校のトイレは、便器の洋式化を拡充すべきで
答弁 4割は洋式化されており、現状は困っていない。
洋式化の費用の問題、学校生活の快適さなどを勘案しながら進めていく。



椎葉 弘樹 議員



録画中継

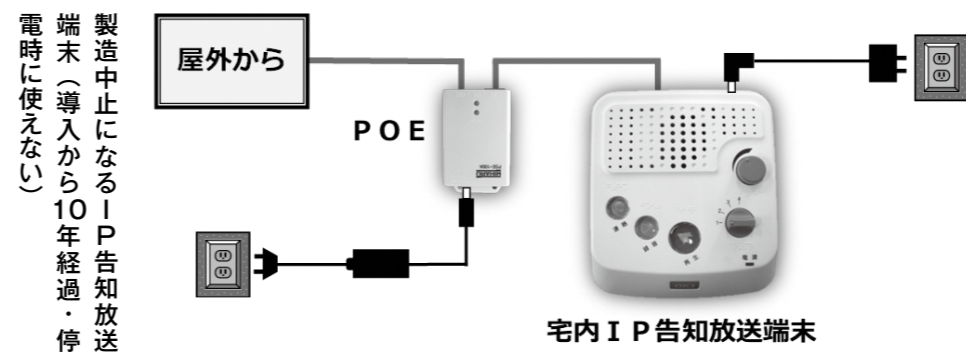
問 インターネット接続サービスの民営化と地デジ難視聴世帯の対応 答 早めに着手したいが課題は財源

要旨 インターネット接続サービスの民営化対応は。
答弁 職員の保守対応が年々増加しており、行政事務の調整に苦慮している。湯前光メーは、生活や仕事に影響があるため、事前に調査したい。
令和6年度末を待たず、早めの事業着手、運用開始をしたい。住民負担の一部を町が支援する件は、財源的な課題はあるが善処したい。民営化方針の提示は、詳しい個別方針など、もう少し煮詰める必要があるため、時期も含めて

考慮したい。
要旨 地デジ難視聴世帯の対応は。
答弁 難視聴世帯の既存設備は、令和6年度末までは使用し、それ以降は新方式をできるだけ早く進めたい。
新方式による住民負担の支援は、設備投資や運用コストも含めて調査する。地デジの難視聴世帯の方針提示は早めに対応したいが、職員のマンパワーが非常に不足している。

問 新たな防災行政情報システムの導入 答 優先度は高い

要旨 IP告知放送端末から新たな受信端末への移行は。
答弁 IP告知放送端末があるうちに専用個別受信端末とアプリの導入を、いま具体的に検討中。
新たな防災行政情報システムの前倒し導入は、防災情報の重要性、伝達手段の強靭性を強く感じている。優位な補助事業や地方債、交付税措置の有利なメニューを選び、事業を早くやっていきたい。



製造中止になるIP告知放送端末(導入から10年経過・停電時に使えない)

宅内IP告知放送端末



老朽化した屋外スピーカー(停電時に使えない)

要旨 屋外スピーカーの対応は。
答弁 柱は30数年を経過しており、全く問題ないとは言えない。近年の災害状況より、蓄電池による停電対策の必要性は考えている。優先順位はかなり高いため、早めの整備が必要。



黒木 龍次 議員



録画中継

問 昨年の災害発生後の復旧状況

答 工事本数が多く入札不調も出ている



猪鹿倉山農地(復旧工事後)

要旨 農地および用水路の復旧状況

答弁 農地は30箇所、内18箇所が竣工済み、工事の時期を延ばしたものの5箇所、入札準備中7箇所となっている。

用水路を含む農業用施設は14箇所、内3箇所が竣工済み、3箇所契約締結、8箇所入札準備中。大溝の土砂撤去は今後検討し、堰の修復は県と協議したい。

水稲の作付けを優先する考えで取り組んでいる。

要旨 河川の土砂撤去並びに災害箇所の復旧状況

答弁 町で発注する分が4河川10箇所、内5箇所契約、4箇所不調、1箇所は入札準備中。県の分が3河川8箇所、内6箇所契約、1箇所不調、1箇所入札準備中。

工事の多くは梅雨明け以降に着手される。

要旨 山間部の土砂災害の工事発注状況、切り捨て間伐および伐採時の作業道。

答弁 町有林を含む私有林の山腹崩壊などの被災は、国県の負担で県が実施、国庫補助対象外で必要と思われる荒地の復旧は、県の補助を受け町が治山事業として行う。

切り捨て間伐や作業道の管理は、「次世代につながる球磨の森づくりルール(行動規範)」が作成されている。また、森林環境保全パトロールが行われており、防災面も配慮を行っている。



永岡地区(復旧工事後)



養谷ため池に大量に流れ込んだ土砂

要旨 ため池の土砂撤去および廃土先の整備状況と農振除外地の活用を積極的にすすめるべきでは。

答弁 養谷ため池の堆積土砂は3万8900㎡。廃土先として町有林を予定しているが全量は難しく、耕作放棄地になつている農地の所有者に相談しているところ。

関連質問 西議員

作業道の雨水対策は。

答弁 町有林の場合、法面のほうに勾配をつけず、水が溜まる箇所には横断溝的なものをつけている。

関連質問 椎葉議員

不調となつた入札の今後の見込みは。

答弁 設計の見直し、時期の見直しなどを検討し、年度内に復旧できるよう対応したい。

問 介護予防・健康づくり運動による健康寿命の延伸

答 若年層から高齢者までの取り組みを推進

要旨 いきいき百歳体操の現在の活動状況は。

答弁 21の行政区、ほかにも保健センターの『いきいき火曜クラブ』、古城区の『ごえんカフェ』で実施されている。

要旨 新型コロナによる、小学生の体力面・精神面への影響は。

答弁 体力テストの結果では、小学校は全種目の41%、中学校は54%が全国平均をオーバーしており、体力面の低下はなかったと考えている。精神面では、中学校に心の教室相談員を配置しているが、相談もなく大きな影響はなかったと考えている。

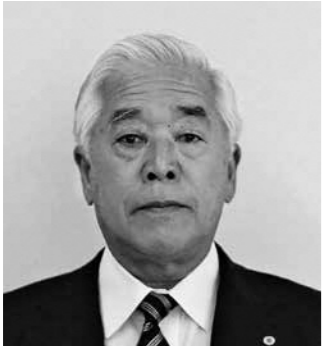
要旨 健康寿命延伸の取り組みは。

答弁 高齢者の介護予防、健康づくりを推進し、互いに支えあう地域社会の実現に努めたい。また、若年層の健康づくりの意識向上を図るために、新たに若年層の検診を予算化した。

関連質問 森山議員

若年層の検診は単年度か、継続してやっていく事業なのか。

答弁 継続して行いたいと考えている。



味岡 恭 議員



録画中継

関連質問 椎葉議員

いきいき百歳体操の活動状況を、町のホームページなどで情報発信すれば、健康寿命の延伸につながるのでは。

答弁 ささまざまな情報発信の手段で、町民に知っていただくよう努めていきたい。



いきいき百歳体操で介護予防に取り組もう

全員協議会

4月20日、5月15日
5月26日、6月7日

主な協議事項

下里御大師堂

木造弘法大師坐像の修理事業

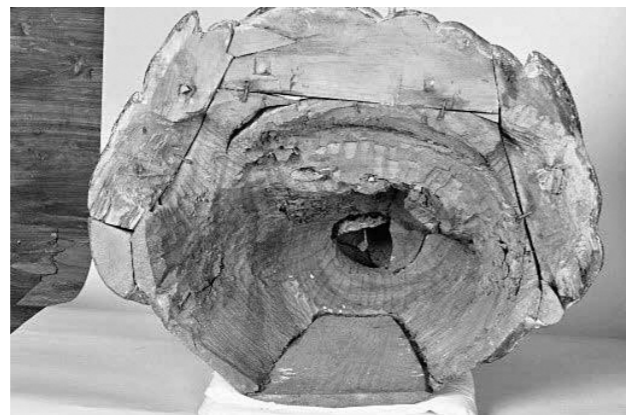
熊本県指定重要文化財の修理

木造弘法大師坐像は県指定重要文化財であり、応永7年(1400年)に太宰府の山井弘成が願主となり、仏師祐全に造立させたものです。

檜材の寄木造で、右手に五鈷(いこ)をとり、左手に念珠を持つ典型的な像です。本像は造立年代も古く、秀作として知られています。

所有者(管理者)である下里地区より修理要望があり、熊本県文化財保存事業などを活用して修理を計画しています。修理場所は、京都国立博物館文化財保存修理所内の予定です。

総事業費約350万円で、財源は県補助金175万円および公益財団法人文化財保護・芸術研究助成団の助成金30万円などです。課題は、残りの事業費を下里地区と町でどのように負担するかです。



経年損傷した弘法大師様(本躰)と台座

損傷状況

(本躰)

- ① 全体に経年のホコリが付着。
- ② 像の各所で彩色層の浮き上がりや剥がれ落ちが進行中。
- ③ 各継ぎ目に緩みや隙間が生じ、継ぎ目の鏝(カスガイ)が錆びている。
- ④ 継ぎ目に施された後補の古色に変色し、尊容を害している。
- ⑤ 像内に虫蝕がみられる。
- ⑥ 背板などの後補材が稚拙で尊容を害している。

(台座)

- ① 豊座天板の右方と後方両角に欠失。
- ② 像に比べて台座が大きく、転用の可能性がある。漆箔や彩色が浮き上がっている。

問 安心安全なまちづくり

答 現制度を分析し今後の制度を設計する



吉田 精二 議員



録画中継

要旨 70歳以上は、免許取得者でも交付してはどうか。
答弁 例外的に心身などの状況で運転できない方は利用が可能であるので、現行の65歳以上で免許を持たない方を基本として対応したい。運転が不安に感じている方は、免許証を返納の上、こちらを利用していただくことをお勧めする。



タクシー券を利用する住民



移動販売の様子



道路沿いをきれいにする住民ボランティア

要旨 タクシー券(最大2冊)を3冊に増やす考えは。
答弁 昨年度の実績において全て使い切った方の利用状況を調査した結果、月ごとの利用は特に不足している状況にはないのではないか。補助単価は、現制度が令和元年から始まっており、これまでの実績を分析し、利用者のニーズを把握して、制度を検討したい。

要旨 民間経営の移動販売に対する助成は。
答弁 現在移動販売を行っている「Aコープくま」への財政支援は難しいところがある。国の制度なども調査し、合致するものがあれば検討したい。関係者で定期的に意見交換を行い、販売ルートや場所などの情報提供をしていければと思う。

要旨 道路里親制度(仮称)を検討しては。
答弁 現在は住民のボランティアにより保持されている部分を、管理契約という形をとることで、住民への負担が生じるのではないかと。道路管理は、職員による監視の強化に加えて、住民の皆様のご協力に感謝するとともに、今後ともご協力をお願いしたい。

企画経済建設常任委員会

5月11日、6月10日

次の所管事務を調査しました。

- ◎建設水道課所管の災害復旧事業
- ◎令和2年7月豪雨災害に係る農業関係の復旧状況

委員長	遠坂 道太
副委員長	味岡 恭
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

被災箇所を視察

河川や道路の復旧状況を調査



猪鹿倉横谷線の被災箇所



蓑谷川の被災箇所



完了した町道蓑谷線の災害復旧工事

総務厚生文教常任委員会

5月13日、6月10日

次の所管事務を調査しました。

- ◎湯前町デジタルミュージアム構想
- ◎町税などの収納状況
- ◎マイナンバーの現状と課題

委員長	椎葉 弘樹
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、黒木 龍次、西 靖邦

デジタルミュージアム構想で文化財の新たな活用

アーカイブ化事業

目的	背景
<p>本町に現存する幾多の文化財や、後世へ継承すべき無形文化財をデジタル化し保存することで、町民はもとより世界中へ発信します。</p>	<p>有形文化財は、時とともに風化します。本町には収蔵品を展示・保管する施設がなく、保存の過程で劣化していく可能性があります。無形文化財「東方組太鼓踊り」「浅鹿野棒踊り」は、少子高齢化で継承者がいなくなれば消滅してしまいます。</p>
事業内容	委員会調査での主な課題
<p>国は、文化遺産などのデジタルアーカイブ化を進めており、本町もこれを推進します。</p> <p>デジタルアーカイブとは 有形・無形の文化財をデジタル情報として記録し、劣化なく永久保存するとともに、ネットワークなどを用いて提供すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○東方組太鼓踊りの採譜作業 ○まんが美術館等活用計画の見直し(改定) ○那須良輔風刺漫画大賞の応募作品や入選作品のデジタル化と活用 ○デジタルデータを活用できる人材の確保 ○VR・3D画像の導入 ○デジタル加工ができる人材の育成 ○有形文化財における工事記録のデジタル化



那須良輔氏の作品などをデジタル化する前に整理した美術館倉庫

人吉球磨広域行政組合議会

新任議員が8施設を視察

住民生活を支える施設の研修

人吉球磨広域行政組合の新任議員を対象にした管内施設研修が、7月8日に行われました。湯前町、あさぎり町、相良村の新任議員8人と議長および組合職員4人が参加しました。

研修ルート

人吉球磨クリーンプラザ → 水上葬斎場 → 免田葬斎場 →
免田リサイクルステーション → 免田中継層(し尿・汚泥) → 深田最終処分場 →
人吉葬斎場 → 汚泥再生処理センター(アクアパーク)



クリーンプラザでの研修の様子



被災で多くの設備を入れ替えたアクアパーク

<広域行政議員 椎葉・西>

上球磨消防組合議会

水難救助車を導入

水の事故や災害に備える

4月27日の臨時会で、水難救助車購入の契約締結を議決しました。水難救助車は、川の事故や洪水災害などが起きたときに出勤し、救助隊員の活動を支えます。



水難救助車の完成イメージ

その他

5月1日から、中嶽水上村長が新組合長に就任しました。(前任：吉瀬多良木町長)

<上球磨消防議員 森山>

研修

6月29日

全国町村議会議長会

令和3年度議長・副議長研修会

～オンライン開催～

テーマ	講師
町村議会の役割と課題 ～あるべき姿を求めて～	江藤 俊昭 氏 大正大学社会共生学部公共政策学科教授
議会におけるハラスメント	太田 雅幸 氏 弁護士
自治体DXと議会デジタル化 ※DX(デジタルトランスフォーメーション)とは? 進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること	廣川 聡美 氏 関東学院大学法学部地域創生学科講師

全国町村議会議長会主催による議長・副議長研修会が、コロナ対策として、初のオンラインで開催されました。本町役場応接室を会場に使い、倉本議長・金子副議長のほか、受講を希望した3人の議員(黒木、椎葉、吉田)が約4時間にわたり、用意された大画面モニターを見ながら受講しました。



オンライン研修の様子

年4回にわたり、特集ページに関するテーマを設定し、住民の皆様からご意見をいただきます。

住民の 声



テーマ 事業承継インタビュー①



有限会社林酒造場
林 浩平さん

○まずは御社の事業内容は

球磨焼酎「極楽」の醸造元です。事業内容は焼酎醸造に加え、地元を大事にしつつ、フランスなどの海外にも販路を展開するなど、世界に視野を向けた取り組みもしています。

○会社を継ぎたいと考えた理由は

最初は正直「後継者」という使命感だけでした。ですが上京して東京農大でお酒を学び、お店などで様々なお酒に出会い、うちの焼酎を「美味しい」と言ってくれる人たちの声を聞いていくうちに、自分も醸造元として「挑戦したい」という気持ちになりました。

○仕事に関する夢は

夢は極楽を世界一「愛される」焼酎にすることです。愛され方には色々なカタチがありますが、地元をはじめ、世界中の多くの人に「美味しい」と言ってもらえるように、まずは手の届く所からどんどん挑戦していきます！

テーマ 事業承継インタビュー②



(有)深水電気工事
鶴田 正典さん

○まずは御社の事業内容は

電気、水道、トイレのトラブルなど幅広く対応しています。お気軽にご相談ください。

○事業承継(後継者)となったきっかけは

電気や水道などのライフラインが途絶えると、不便であり不安な気持ちになります。災害による被害や急なトラブルにより使用できなくなったとき、速やかに対処する場面に遭遇し感銘を受けました。安全・安心な暮らしには、電気・水道は欠かせないものです。やりがいをもってできる仕事と感じ今に至っています。

○仕事に関する夢は

今はまだ経験も浅く、仕事を覚えることに精一杯で、社長からいろんなことを指導いただいています。これからは資格取得や経験を重ね、社長のようになり、どんな状況・内容でも対応できるようになりたいと考えています。

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111(内線261)

編集後記

▶令和2年7年豪雨災害から1年が過ぎました。各所で復旧工事が行われていますが、急ピッチで工事をされている業者さんや役場担当の皆さんのご奮闘に敬意を表します。

▶新型コロナウイルスワクチンの接種は強制ではありません。その効果と副反応のリスクを理解した上で、

自らの意思で接種を受けることになります。接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをしたりすることがないように、お互いに気を付けましょう。
(遠坂)

◆議会広報調査特別委員会

私たちが編集しました。

委員長 森山 宏 副委員長 西 靖邦
委員 金子 光喜 椎葉 弘樹
遠坂 道太 吉田 精二

